

# 市長とミライとーく 報告書

令和8年2月27日

日 時	令和 8年 2月 20日 (金)	14:00~15:30
会 場	関市役所7階 つなぐガーデン (関市若草通3丁目1番地)	
対 象 者	市内在住、在学の高校生	参加者 10人
テ ー マ	高校生が考える住みたい街とは	
担 当 課	関市教育委員会 関商工高等学校	

## 【参加者からの意見】

トークテーマ①「理想の街とは」

- ・魅力がある街（観光は充実しているが、定住したいと思う魅力は少ないと感じる）
- ・公共交通機関が充実している街
- ・Uターンしやすい街（若者が進学・就職で一度は市外へ出ていっても関市に帰って定住したくなる街）
- ・世代間交流ができる機会が多くある街
- ・住民が関市の産業や観光に自信が持てる街（刃物産業など）
- ・お金を使わなくても1日遊べる場所がある街

トークテーマ②「関市の課題」

- ・本町通り等の商店街に活気がない
- ・路地の街灯が少ない場所の見直し（夜間の視認性が悪く危険である）
- ・道路環境（自転車専用レーン）の整備（路側帯しかない、道幅が狭い等）
- ・公共交通機関の利便性向上（自動車がないと自由に移動できない）
- ・公園等、遊べる施設の見直し（より多く整備してほしい）

## 【参加者からの提案】

トークテーマ③「理想に近づけるためには」

- ・世代間交流ができるイベントをもっと活発的にしてはどうか
- ・商店街の活性化のため、積極的にお店紹介をして、初めてのお店にも足を運びやすくする。  
近隣市町村にあるが関市にはないお店（例：猫カフェなど）を誘致する。
- ・財源を確保するために、短期的な日帰り観光ではなく、宿泊を伴う長期滞在をしてもらえる観光産業を整備する。宿泊により、市内の飲食店などを利用してもらいたい。
- ・自然を活かした観光に力をいれる。（バーベキュー施設、ヴィラ、グランピング等）

- ・市内高校間の交流をもっと活発にしたい。コラボ活動を通して関市を盛り上げたい。
- ・市民が関市の魅力を深く知る機会を多く設けてほしい。（特に刃物産業）

#### 【担当者の考え】

今回高校生の目線でまちづくりについて意見を出してもらい、自分たちが想像しないような着眼点があり大変興味深かった。特に普段自動車を運転できない高校生が自転車で走行する際に不便に思うことが多くあるとのことで、道路は自動車・自転車・歩行者それぞれの視点で整備に取り組まなければいけないと改めて感じた。いずれの課題についても、一方の意見のみを反映した対応を行えば、他方に影響が及び、結果として新たな不具合が生じるおそれがあるため、全体を俯瞰し、多面的な視点から総合的に改善策を検討していく必要があると感じた。

#### 【今後の対応】

- ・本校生徒からでた要望を取りまとめ、適切な事業課へ情報提供を行う。

【当日の様子】

